



令和5年2月14日

各 位

会 社 名	株式会社アプリックス	
代表者名	代表取締役社長	倉 林 聡 子
	(コード：3727、東証グロース)	
問合せ先	経営管理部 担当部長	岩 井 俊 輔
	(TEL. 050-3786-1715)	

報告セグメントの変更に関するお知らせ

当社は、令和5年2月14日開催の取締役会において、令和5年12月期より報告セグメントを変更することについて決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 変更の理由

当社は、前期令和4年12月期において旧来の報告セグメントである「テクノロジー事業」と「ソリューション事業」について、当社の主要製品であるロケーションビーコン「Mybeacon シリーズ」やモニタリングプラットフォームサービス「HARPS」(以下「HARPS」)等の提供のほか、個別の顧客に対して製品企画・設計・製造・販売、またシステム開発・運営管理等を総合的に提供する「Aplix IoT プラットフォーム事業」、顧客のシステム開発支援を行う「エンジニアリングサービス事業」と、携帯電話端末や音声・データ通信サービス等のMVNO サービスを提供する「MVNO 事業」の3事業に変更しました。しかしながら、当社の主要事業の一つとして位置付けた「Aplix IoT プラットフォーム事業」においては、上記のとおり製品・サービスの提供から顧客ごとの製品企画・設計やシステム開発支援まで多岐に渡るビジネス展開を行っていたことや、その他の報告セグメントである「エンジニアリングサービス事業」と「MVNO 事業」との間で顧客や人的リソースのほか、業務プロセス等について相互に共有が生じることから、「Aplix IoT プラットフォーム事業」としての事業の定義や目標の設定等が困難な状況が続いておりました。

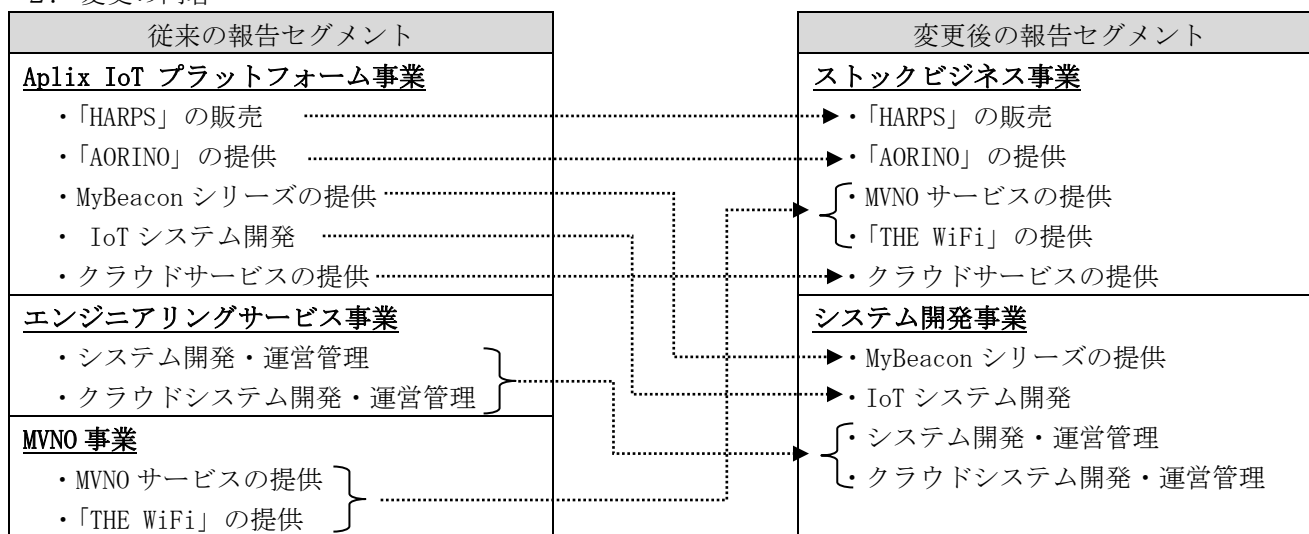
そのような状況下、当社グループは、継続課金モデルの製品・サービス(ストックビジネス)等の開発・提供を推進することで業績の向上及び安定化を図りながら、当社の強みであるシステム面から顧客が求めるビジネスを実現することでグループ全体の事業の柔軟性や対応力を強化することを経営戦略として位置けるとともに、グループ全体の更なる成長を目指すにあたり、本経営戦略に沿った事業の方向性や成長戦略をより明確に設定できるよう、またこれら経営戦略に沿った施策の取り組みに関する進捗状況や成果等を十分に可視化することを目的として、このたび報告セグメントを「ストックビジネス事業」と「システム開発事業」の2事業に変更することといたしました。

「ストックビジネス事業」においては、現在当社グループの柱となっているMVNO サービスにおいて市場上位レイヤーの契約者数を保有している強みに加えて、各種通信サービスのプラン設計や一連のバックオフィス業務まで幅広く対応可能なこと、また当社の開発力を活かしたサービス向上やラインナップの拡充などが行えることなど、これら当社グループの強みを積極的に活かしたビジネス展開を図ることで収益基盤の安定化と収益の拡大を図ってまいります。また、事業規模の拡大やストック売上の増加につながるような他社との提携やM&A等についても積極的に検討してまいります。

また、「システム開発事業」においては、創業以来30年以上に渡り培ってきた「組込み」に関する経験や技術に加え、この「組込み開発力」や多数の顧客向けシステム・クラウド開発から得られた知見やノウハウ、またMVNO 事業者として保有する通信技術等を有しており、これらを組み合わせた組込み&エッジからクラウドまでのワンストップ開発を可能とする対応力を生かして顧客のニーズを実現することで、顧客基盤の構築や事業の柔軟性向上を図るとともに、エンジニア稼働率の適正化等に取り組むことで収益性の向上についても取り組んでまいります。

なお、上記に記載した施策の詳細については本日開示しました「事業計画及び成長可能性に関する事項の開示」をご確認ください。

2. 変更の内容



以上